

＝ 時に関する意識・実態調査 第5回『みんなのお説教事情』 ＝

2011年4月12日(火)～2011年5月9日(月)にWEBマガジン「REAL SCALE」上でアンケートを実施

回答者＝全国の2,092人 男性：1,330人/女性：762人

20歳未満：26名/20歳代：315名/30歳代：588名/40歳代：612名/50歳代：370名/60歳以上：181名

[Q.1] 先生・先輩・上司等から、お説教を受けたことがありますか？

◎説教の思い出は、“正座”と“涙”と“愛のムチ”

お説教を受けた経験の有無、男女共に8割を超える人が『ある』と回答、男女関わらず大多数の人は、お説教を受けた経験があるようです。そんな、多くのお説教を受けたことがある方からのコメントはバラエティーに富んでいます。読み進めると、お説教と深くかかわる幾つかのキーワードが……。それは“正座”と“涙”と“愛のムチ”その一部をご紹介します。

< 正座編 >

- 正座して、お説教を受けていたので、5分もすると説教の内容じゃなくて、脚がしびれてきてそっちのほうばかり気になって話は全く耳に入らなかった。(神奈川県・男性)
- 中学校の時、20人で柔道場に正座させられて説教1時間、そのあと正座のまま1時間。先生が正座させたのを忘れてたらしく、戻ってきて、なぜ呼びに来ない！とまた説教。みんな疲れて眠くなり、あまりためにならなかった。20年前のことだけど、しっかり覚えてます。(宮崎県・女性)
- 小学生の頃 父に何度も正座をさせられました。今は良い思い出です。きっと父の厳しさのおかげで今の私があるのだと思っています。(静岡県・女性)

< 涙編 >

- 電車の中で悔しくて泣いた。(神奈川県・女性)
- 取引先との商談に大失敗して会社でも大目玉を食った夜に、上司から呼び出し。社内で叱られた後に食事に連れて行かれ、涙を流しながら昔話をしてくれた。あんな鬼上司が泣くななんて・・・次の日からはまたいつもの鬼。絶対にその事は話すなど言ったあの後ろ姿は忘れません。(愛知県・男性)

< 愛のムチ編 >

- 中学生の時、家出をした。しばらくして、家に戻った時に、生まれて初めて父にひっぱたかれた。初めて父が泣いていた。長い時間、父と向き合い正座をしていたが、お説教といっても会話はほとんどなかった。言葉はないが会話をしていたと思う。迫力と愛情があった。(茨城県・女性)
- ウソをついたり怠けたりするとめっちゃ母親に怒られました。時には叩かれたりすることもありました。厳しくしてもらって今では有り難いと思っています。(埼玉県・女性)

他にも多数、これらのキーワードに関わるエピソードが寄せられました。

どうやら、お説教を語るには、“正座”“涙”“愛のムチ”これらのキーワードなしでは語れないようです。

< 図1:説教を受けた経験の有無 / 全体・性別 (N=2,092) >



◎品行方正？したたか？お説教を受けない人は、世代関わらず2割前後存在！

世代別で見る、お説教を受けた経験の有無、若干の変化はあるものの、各世代共通で、ほとんどの人がお説教を受けているようです。驚くべきは、各世代2割前後の人が、お説教を受けたことがない人がいるということです。中には、「人生51年、人からお説教をされた覚えはない（東京都・男性）」と力強く自信に満ちたコメントを寄せる方も。

その他に、お説教を受けたことがない方のコメントを紐解くと、「自分の会社は上司に恵まれているせいか次は気をつけなよって感じな人ばかりなので説教をされた記憶がありません（東京都・男性）」と、周りの人に恵まれている方。

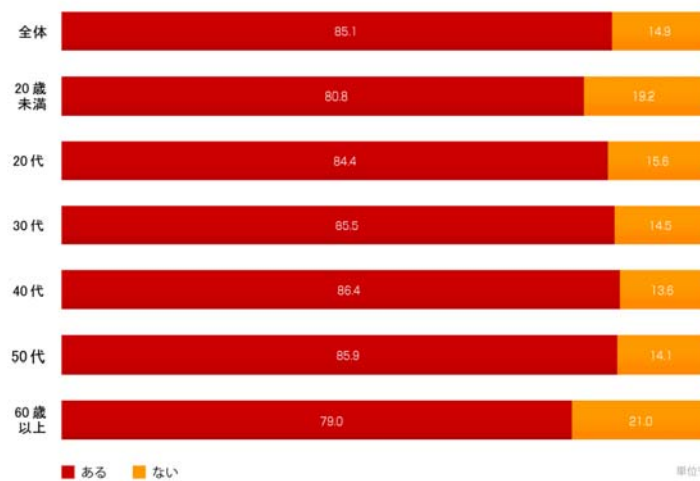
「説教されているのかもしれないが、面倒な話は右から左なのであまり思い出がない（東京都・男性）」「私は、のんきな性格なので説教を受けていたのかもしれないのですが、それを説教だとは思っていなかったのかもしれない（埼玉県・男性）」等、お説教だと気付かない方も。

また、「三女として育った私は、上の行動を見て育ったので、親からの小言を上手く通り抜けていたので・・・記憶がありません（福岡県・女性）」こちらは、先回りして巧みにお説教を回避する方。

お説教を受けずに済む理由は様々なようです。

出来ることなら受けたくはないお説教ですが、避けて通る道はなかなか険しそうです・・・。

〈 図2:説教を受けた経験の有無/ 全体・年齢 (N=2,092) 〉



[Q.2] お説教を受けたことがある方にお聞きします。 過去受けたお説教で最長時間はどれくらいでしたか？

★時間が大きく関係！効果生むお説教術

お説教の最長時間、男女で比較をすると、『5分未満』『5分以上』の回答は、女性が多く、『15分以上』～『半日以上』の回答になると男性が上回り、長いお説教を受けたのは男性の方が多いようです。

しかし、もっとも長い『半日以上』の回答に注目すると、男性2.7%、女性2.2%。男女ほぼ同じ割合で、長時間に及ぶ大説教を受けた人がいることがわかります。半日以上にも及ぶお説教いったいどのようなものだったのでしょうか。「私の先輩が朝8時に出社してから12時まで、そして昼食時間後、夜の8時まで怒られていた。すごい！（富山県・男性）」「はじめて就職した先の上司が説教好きで、毎日3～5時間、ほぼ愚痴の説教を受けてました。仕事を教えてもらった事は一度もありません。5か月を終えた頃、13時間半の説教を受け、ここには自分がおかしくなると思い、翌日仕事を辞めました（東京都・男性）」等と、長すぎる時間に、気が遠くなりそうなエピソードが寄せられました。

他にも、お説教の時間に関するコメントでは、「為になる説教は上司から短時間のものが多かった（千葉県・女性）」「あまりに長すぎて途中から眠くてあまり覚えていない。たいがい長い話には効果がない。要点を簡潔に話をするほうが効果が出ると思う（兵庫県・男性）」等、長いお説教は無意味という内容のコメントが多数寄せられました。

お説教をする場合は、短時間で簡潔にというのがポイントのようです。

〈図3: 説教を受けた最長時間 / 全体・性別 (N=1,780 説教経験者のみ回答)〉



★40代の約半数が経験、長〜いお説教

世代別で見るとお説教の最長時間、『30分以上』～『半日以上』の長時間といえる回答は40代が最も多く、49.3%。約半数の人が、長時間のお説教を受けた経験を持っていることがわかります。長時間のお説教を受けた40代の方のコメントには次のようなものがありました。「夕暮れの職員室、とにかく懇々と……。1時間にもなろうかという頃、僕のおなかが“ぐー”と鳴った。それで笑いが起きお説教も終了。今でもクラス会で先生と酌み交わす酒の肴になる話です（北海道・男性）」「子供のころに親に時間について説教された思い出がある、子供は、やはり時間の観念がなくいつまでも外で遊んでいた。説教のおかげで、時間に対して現在では厳格になった（兵庫県・男性）」

昔に受けたお説教が、今では教訓となっているという方や、良い思い出となっているという方も多いようです。あなたの周りの40代の方も、長いお説教の思い出をお持ちの方が多くはないのでしょうか？

〈図4: 説教を受けた最長時間 / 全体・年齢 (N=1,780 説教経験者のみ回答)〉



**[Q.3] お説教を受けたことがある方にお聞きします。
最長のお説教は誰から受けましたか。**

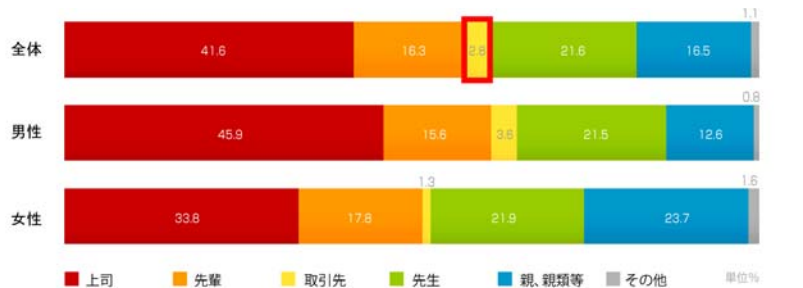
★取引停止！？背筋も凍る取引先からのお説教

最長のお説教は誰から受けたか、全体で、多い順から、『上司』41.6%、『先生』21.6%、『親、親類等』16.5%、『先輩』16.3%、『取引先』2.8%という結果に。男女で比較すると、男性の『上司』が45.9%で半数近くを占めるのに対して、女性も『上司』が一番多いものの、『親、親類等』が増え、23.7%となり、男性12.6%のおよそ倍となっています。女性は、親や親戚の人からのお説教が多い傾向にあるようです。

『その他』を除いて、最も少なかった『取引先』ですが、最もお説教を受けたくないシチュエーションではないでしょうか？寄せられたコメントでは、「本来は営業の人に言うべきことをたまたま出張していたので、沢山のおこごとを聞いてきた。社内の現状を知っているだけにぐっと我慢して聞くしかなく、とても辛かったです（静岡県・男性）」「さんざん説教されて取引停止になった（愛知県・男性）」等がありました。

代理でお説教を受けた気の毒な方や、取引停止にまで至ってしまった方まで、自分だったらと想像すると、背筋が薄ら寒くなるエピソードもありました。一方で、「前任から引き継いだお客様でクレームから始まりました。かなり厳しいクレームでしたが、6年掛けて信頼関係を築いていき、今では信頼を勝ち得ています（千葉県・男性）」等、お説教が転じてプラスに、という方もいらっしゃいました。

＜ 図5:最長の説教は誰から受けたか / 全体・性別 (N=1,780 説教経験者のみ回答) ＞



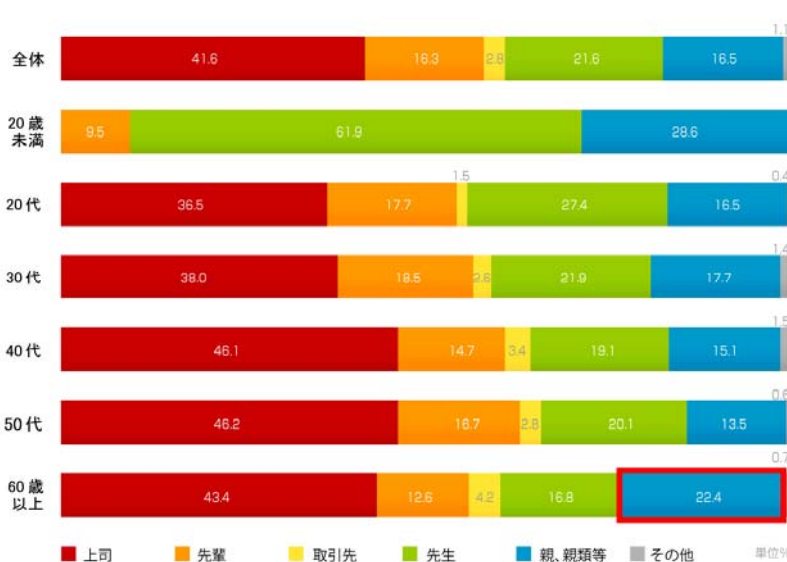
◎昔の親は怖かった！60歳以上に多い親からのお説教

最長のお説教は誰から受けたかの世代別比較、『親、親類等』の回答が最も多かったのは、20歳未満の28.6%、まさに現在進行形で、親からお説教を受ける機会が多いということでしょう。

一方で、20代以上の世代に目を向けると、60歳以上の22.4%が最も多いという結果に、これはやはり、昔は今より親が怖い存在だったということでしょうか？

60歳以上の方からのコメントでは、「親の愛情を感じた（埼玉県・男性）」「親は間違った事を言わない（岡山県・男性）」「亡父は明治生まれの頑固者で威厳があり怖い存在でした。中学三年生の時に学校が休みと嘘をつき友人と遊びに出掛け、補導され亡父に説教をもらいました。そのお蔭で道外れずに今の自分があると思っています。亡父の“人を騙すな”を遺言と思い過ごしてきました（岩手県・男性）」等、お説教を通じて、親の威厳を感じるコメントが寄せられました。

＜ 図6:最長の説教は誰から受けたか / 全体・年齢 (N=1,780 説教経験者のみ回答) ＞



[Q.4] お説教を受けたことがある方にお聞きします。
最長のお説教はあなたの為になったと思いますか？

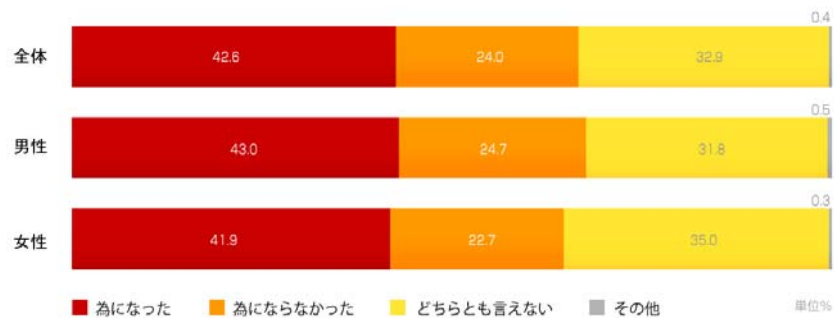
◎男女の約半数「お説教は為になる！」と回答

最長のお説教は為になったか、全体では、『為になった』42.6%、『為にならなかった』24.0%、『どちらとも言えない』32.9%。男女による差はほとんどなく、半数近くの男女が、お説教は為になったと回答しています。

『為になった』と回答された方からのコメントには、過去を振り返り、あらためて感謝しているコメントが多く、「入社してから数年間の間にお説教をされたことにより、今現在ある程度の仕事をこなせるようになってきました。今までお世話になった上司・先輩方に感謝です（岡山県・女性）」「説教された時は腹が立ったが、あとから振り返ってみると大変ありがたいアドバイスであったと思える（広島県・男性）」「高校時代の話、職員会議で半分の先生が退学に賛成されてたのを、涙を流し説得し停学に留めてくれた担任の先生がいました。人生は簡単だぞ！何度でもやり直しが出来るから！！と教えられ卒業の日“過ちて改めざる、これを過ちという”と書いた色紙をプレゼントされました。あの時担任の先生が私を見放してたら、おそらく転落の人生を歩んでいたと思うと、感謝しか頭に浮かばない（熊本県・男性）」

その時は、素直に受け入れられなかったが、今では感謝しているという方や、お説教を心に刻み、人生の教訓としているという方が多くいらっしゃるようでした。

〈 図7:最長の説教は為になったか / 全体・性別 (N=1,780 説教経験者のみ回答) 〉

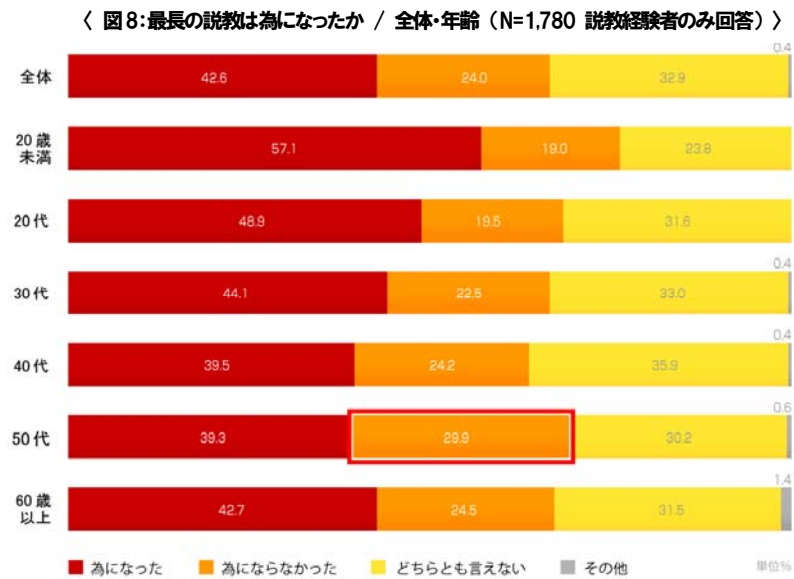


◎反骨精神旺盛な50代、『為にならなかった』が最も多く

最長のお説教は為になったか、世代別での比較、『為になった』との回答は、最も若い世代の20歳未満が最多の57.1%。以降、20代～50代まで徐々に減る傾向となり、意外にも、若い世代ほどお説教を受け入れる傾向にあるようです。

一方、『為にならなかった』との回答は、50代が最も多く、次のようなコメントが寄せられました。「確認もしないではじめられたので不愉快だった(神奈川県・男性)」「感情むき出しに気分で説教されるのはとてもつらかった。説教されても自分の非を認めることができればいいのですが…(秋田県・女性)」「説教するほうとされるほうの能力差が大きくないと説得力なし。かといってされるほうが意味を理解できないと意味がない。上司の説教は、パワハラが多いように思います(新潟県・男性)」等がありました。

どうやら、50代の方は、理不尽なお説教を受けた経験ある方や、お説教に関して一家言あるという方が多いようです。



以上